

火災から家族を守る住宅用火災警報器

町が各ご家庭に配布した住宅用火災警報器は既に 10 年以上経過しています。電池の交換はできないタイプですので、下記の注意事項を確認のうえ、新しいものをお買い求めください。

✓住宅用火災警報器ってどんなもの？

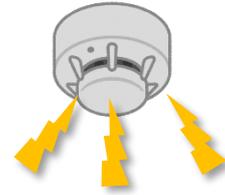
住宅用火災警報器は火災をみつけて、音や音声でみんなに知らせます。

✓なぜ、お家に住宅用火災警報器が必要ななの？

住宅火災により亡くなる人が増えているからです。その原因の多くは逃げ遅れで、半数以上が 65 歳以上の高齢者となっています。

✓どの部屋に取り付けるの？

「寝室」と「階段」です。※台所は任意設置です。



✓なぜ階段にも設置するの？

煙は階段を通して上の階へと広がります。

階段に設置すれば、上の階の部屋に煙が充満する前に警報が鳴り、早く避難することができます。

✓住宅用火災警報器は交換が必要ななの？

電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です！

10 年を目安に交換しましょう！

✓住宅用火災警報器を付けた時期を調べるには？

警報器の「設置年月日」や「製造年」を確認してみましょう！

✓自分の家には住宅用火災警報器がついてないけど…

大切な家族を火災から守るため…

ぜひ住宅用火災警報器の設置にご協力ください！



【設置場所の一例】



複数の感知器を一斉に鳴動させる無線式連動型が有効です。